



Polaris news

【北高ニュース NO.202303】

ユネスコ講演会

6月16日、1年生全員と国際理解コース2・3年生対象に講演会が行われました。INSHUTI(アフリカンバティック服飾品ブランド)代表でいらっしゃる望月優子氏を講師にお迎えし、「寄付以外の社会課題への関わり方」という演題でご講演いただきました。ルワンダの歴史、ルワンダでの生活や現地で行っていた活動についてお話してくださりました。『『知ろうとすること』が全てのスタートだった。そして友達のために何かしたいという思いから活動を始めた』とおっしゃる望月氏。してあげる、してもらうではなく、現地の方とビジネスパートナーとして対等に活動をされていて、起業したINSHUTI(ルワンダ語で「友達」)という名前にはそんな思いが込められているそうです。最後に「自分にできることを見つけてください」というメッセージをいただきました。



生徒の感想

- ・私は、国際協力と聞くと世界中の人々のためにやることというイメージがあり、特別なことのように考えていたのですが、望月さんから、「アフリカの人たちと友達になったので、その友達が困っていたら助ける」というシンプルでわかりやすい考え方を学びました。
- ・望月さんの友達の話やルワンダの虐殺のことを聞いて、このような出来事は2度と起きて欲しくないし、起こしてはならないものだと思います、望月さんの友達のようなつらい思いをする人は出してはならないと思いました。
- ・私は望月さんの話を聞いて、まずは知ろうとし、自分にできることを見つけ、行動することを大切にしようと思いました。
- ・最後に望月さんは僕たちへの願いを語ってくれた。「まずは一歩踏み出してほしい。普段の生活の中で、何か気づきを見つけ、それに向かって精一杯頑張ってもらいたい。」望月さんの言葉一つひとつが、僕の心に響いた。
- ・他人ごとではなく自分ごととして考えることが大切で、何事も始めるにはまず興味を持つことが大切だということ学んだ。「先進国や途上国の関係を越えて友達に」という考え方がとてもいいなと思った。私もそうなれたらいいなと思った。